

2011年12月21日

各 位

株式会社大京

大京のライオンズマンション 建設地内に「案内用櫓（やぐら）」を原則設置 ～ 品質性能の高さや建物と周辺環境の位置関係を説明 ～

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口陽）は、ライオンズマンションの販売に際し、お客さまにライオンズマンションの品質性能の高さや建物と周辺環境の位置関係を説明するため、マンション建設地内に現場案内用の「案内用櫓（やぐら）」を原則設置することといたしましたので、お知らせいたします。

*原則としているのは、マンションギャラリーを敷地内もしくは敷地に隣接して設置し、敷地内を見学できる等設置不要な場合、計画地が狭く設置が不可能な場合等は除かれるため。

お客さまより「敷地周辺の状況を自分の目で確認したい」とのご要望があり、このご要望にお応えするため、マンション建設敷地内に「案内用櫓」を設置することで、建物と周辺環境の位置関係等を確認いただき、お客さまにご安心いただくこととしたものです。建設作業をしている場所に立ち入ることなく道路から直接入ることができ、建設会社の社員の方の立会いを依頼することなく見学ができます。

なお、「案内用櫓」からの見学に際しては、お客さまにもヘルメットや軍手等の着用が必要となります。



「案内用櫓」の写真



「案内用櫓」から見たマンション建設現場

以上

◆ このニュースリリースに関するお問い合わせ先 ◆

株式会社大京 広報・IR室（伊奈、丸山） TEL：03-3475-3802